

保護者向け

3月号

校長室だより

令和8年3月4日
座間市立相武台東小学校
校長 柏木 直樹

日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。校庭の梅の花がほころび、やわらかな日差しの中で子供たちの笑顔がいつそう輝いて見える今日この頃です。保護者の皆さまには、今年度も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

振り返れば、今年度もさまざまな出来事がありました。新しい学年のスタートに緊張していた子供たちが、日々の学びや行事を通して、仲間とともに成長していく姿は、私たち教職員にとって何よりの喜びでした。特に、行事や体験活動の中で見せてくれた真剣なまなざしや、友達を思いやる優しい言葉には、子供たちの確かな成長を感じることができました。

3月は、卒業や進級といった節目の時期です。6年生は、いよいよ小学校生活の締めくくりを迎えます。これまでの学びや経験を胸に、中学校という新たなステージへと羽ばたいていく姿を、私たちも誇らしく見送る準備を進めています。また、在校生も次の学年に向けて、目標を持って日々の学習や生活に取り組んでいます。

子供たちが自信をもって次の一步を踏み出せるよう、私たち教職員一同、最後まで心を込めて支えてまいります。今後とも、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



年度末の子供たちに対して、保護者の皆様をお願いしたい関わり方

1. 子供の1年間の成長を一緒に振り返ること 通知表や作品、思い出話などを通して、「こんなにできるようになったね」「がんばったね」と、努力や成長を認めてあげてほしいです。保護者の温かい言葉が、子供たちの自信と次への意欲につながります。
2. 感謝の気持ちを育むサポート 担任の先生や友だち、地域の方々など、1年間お世話になった人たちへの感謝の気持ちを伝える機会をつくっていただくと、子供たちの心の成長にもつながります。
3. 生活リズムの維持と心の安定を支えること 春休みは気が緩みがちですが、規則正しい生活を続けることで、新年度へのスムーズな移行ができます。特に睡眠や食事のリズムを整えることは、心と体の健康にとって大切です。
4. 新年度への前向きな気持ちを育てる声かけ 進級や進学に不安を感じる子もいます。「大丈夫だよ」「楽しみだね」といった前向きな言葉が、子供たちの安心感につながります。
5. 学校との連携を大切にすること 子供の悩みや不安などは表面に出にくいものです。子供の変化にいち早く気づき対応できるよう、家庭と学校でしっかりと連携してまいります。

